

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-1 農業	担当課
	① 農地の有効活用	まちづくり推進課
施策の展開方向	●農地の流動化を促進することで、意欲のある担い手への農地集積や遊休農地の発生防止、農地保全に努めます。 ●貸し農園や体験農園等の整備支援や農業の魅力を広める活動を通じて、自然志向が高まる都市住民との交流機会の創出や関心惹起を図ることで、農地の有効活用や担い手の確保に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
遊休農地の活用件数（累計） 【筆】	-	1 対前年増減→	1 ±0	1 ±0	1 ±0				4
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 人・農地プランによる担い手への農地の集約化 【取組の概要（背景・目的等）】 農地の流動化を促進し、意欲のある担い手への農地集積や遊休農地の発生防止、農地保全に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 人・農地プランによる担い手への農地の集約化の実施については、農業委員会に協力を依頼し集落ごとの会合の中で議題としてあげてもらうなどの実施に向けての活動を行いました。実施には至りませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 上牧町には集落営農や農業法人がなく、また農地も区画整理のされていないところがほとんどで、人・農地プラン(担い手や農業法人など)を活用することが難しいのが現状であります。 【今後の取組方針】 県やJAと連携を図り、農地の集約に向け事業を推進していきます。
取組② 貸し農園や体験農園化の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 貸し農園や体験農園などの整備支援や農業の魅力を広める活動を通じて、自然志向が高まる都市住民との交流機会の創出や関心惹起を図ることで、農地の有効活用に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 貸し農園や体験農園化の推進に関しては、一筆の農地を利用し、農業委員会が米山台自治会と協働し、遊休農地（一筆）を利用して、地区の小学生以下対象のサツマイモの苗植え体験やイモ掘り体験を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 県や推進している市町村に聞き取りを行うとともに、農業委員会から幼稚園、小学校及び自治会に周知活動を行います。 また、農業体験などの活動については、教育委員会部局と連携しながら実施することを検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-1 農業	担当課
	② 生産体制の充実	まちづくり推進課
施策の展開方向	●認定農業者など中心的な担い手を育成するとともに、定年帰農者など新たな担い手の確保を通じて、生産体制の充実を図ります。 ●朝市等の新鮮農産物の産地直売体制を支援することで、販路の確保や上牧町の農産物の認知度向上につなげます。 ●持続可能な農業の実現に向け、農家の後継者に頼る農業から、地域が協働して農を支える仕組みを構築し、新規就農者の育成・確保や経営安定化、農産物の高付加価値化を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
新規就農者数（年間）【人】	○	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0				1
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 認定農業者の確保 【取組の概要（背景・目的等）】 認定農業者などの中心的な担い手を育成するとともに、定年帰農者など新たな担い手の確保を通じて、生産体制の充実を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 県やJAと連携を図り、農業者をサポートするための相談窓口の設置や、その周知活動を農業委員とともに行いましたが、認定農業者確保には至りませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 認定農業者の確保については、農業者の高齢化、後継者不足、農地の集約などの課題があります。 【今後の取組方針】 この課題に対し、これらの解消活動を農業委員会により行うといったアプローチが必要と考えます。
取組② 奈良県新規就農者確保補助金制度活用のあっせん 【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な農業の実現に向け、農家の後継者に頼る農業から、地域が協働して農を支える仕組みを構築し、新規就農者の育成・確保を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 県新規就農者確保補助金制度活用のあっせんについては、農業委員会を通して各大字ごとの若い世代の農業者に声かけを行いましたが、新規就農者確保には至りませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 新規就農者の確保については、本町の農業規模や農地の形状など改善点が多く見られます。 【今後の取組方針】 この課題に対し、これらの解消活動を農業委員会により行うといったアプローチが必要と考えます。
取組③ 就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援 【取組の概要（背景・目的等）】 新たに本町で就農されるかたへの支援策を模索するとともに、朝市などの新鮮農産物の産地直売体制を支援し、販路の確保や上牧町の農産物の認知度向上につなげます。 【実施内容・成果（R05）】 就農支援については、農業委員会を通して各大字ごとの若い世代の農業者に声かけを行い、1名の新規就農者を発掘しましたので、そのかたとともに県へヒアリングに行き、今後について協議を行いました。 産地直売体制への支援の面では、上牧ふれあい朝市会に対し、場所の提供、ポスター作成などの支援を行い2人の新規協力者を確保しました。それにより、朝市の会員数は合計21人となりました。 また、上牧ふれあい朝市会の会員が作っている玉ねぎを、商工会が販売している「片岡の里 春ちゃんの黒カレー」に使用させてもらい地産地消につなげました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、新たに就農されるかたへの支援策を模索するとともに、上牧ふれあい朝市会の販路確保や農産物の認知度向上に向けた取組を実施していきます。 また、新規就農者育成における空き家バンク制度との連携について、実施している市町村に聞き取りなどを行い、実施に向けて検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-1 農業	担当課
	③ 優良農地の確保	まちづくり推進課
施策の展開方向	●農道や用排水路の整備など、生産性向上のための基盤整備を進めます。 ●農地等のさらなる整備・活用を図るため、地籍調査を実施します。 ●有害鳥獣による被害を軽減するため、地域と連携しながら被害防除対策に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
地籍調査実施地区数（累計） 【地区】	-	2 対前年増減→	3 +1	3 ±0	3 ±0				5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 地籍調査の実施		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 農地などの更なる整備・活用を図るため、境界の明確化と測量実施による図面の整備を実施します。 【実施内容・成果（R05）】 農地を中心とした中筋出作地区（老人ホームなごみ館付近）71筆の地籍調査に着手しました。 令和5年度では、所有者調査を経て現地立会及び測量まで実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・地籍調査事業：7,107千円	A	【今後の取組方針】 南上牧地区の農地を中心に調査を進めていきます。 <実施予定地区> 令和6年度 中筋出作地区（来來亭付近） 令和7年度 南上牧地区（慈光保育園付近）
取組② 生産基盤整備の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 農道や用排水路の整備など、生産性向上のための基盤整備を進めます。 【実施内容・成果（R05）】 生産基盤整備では、ため池の工事に伴う工事費を土地改良施設維持管理適正化事業にて積み立てるとともに、農業者に対し農業委員会を通じて生産基盤整備の補助事業などの周知活動を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・土地改良施設維持管理適正化事業：500千円	B	【課題】 町内のため池や水路については、経年劣化や災害などにより補修が必要となってきました。 【今後の取組方針】 農業の根幹を支える生産基盤の整備を推進すれば、水源の確保及び農地の確保につながり、既存の農業者または新規就農者のかたたちが安心して農業を営む場を提供できることから、引き続き農業委員会を通じて農業者に向け周知活動を行っていきます。
取組③ 地域との連携による有害鳥獣被害防除対策の実施		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 有害鳥獣による被害を軽減するため、地域と連携しながら被害防除対策に取り組みます。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度においては、本町における有害鳥獣被害は例年に比べ増加しています。これら被害報告をもとに猟友会6名に防除を依頼し、23頭のイノシシを捕獲しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・有害鳥獣被害防除事業：889千円	A	【今後の取組方針】 有害鳥獣被害について、例年に比べ増加しており減少には至っていないことから、今後についても猟友会と連携を図りながら有害鳥獣の防除について対策を実施していきます。 また、猟友会の人材確保について、免許取得のための試験日程の周知をHPや広報などに掲載します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-2 商工業	担当課
	① 商工業の振興	まちづくり推進課
施策の展開方向	●商工業者の経営支援や地域活性化に取り組む商工会の運営支援を行うとともに、商工会や関係機関と連携し、経営指導体制の充実による経営者の育成や起業支援に努めます。 ●中小企業者が資金融資を受けられ、経営の安定化につなげられるよう、融資認定や関係機関の融資制度の活用情報の提供に努めます。 ●経営の革新に取り組む事業者と関係機関との連携支援をはじめ、様々な課題を抱える町内事業者に対する支援体制の構築・拡充に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
創業支援による新規事業所数（累計）【事業所】	-	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0				3
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 経営指導体制の支援 【取組の概要（背景・目的等）】 商工業者の経営支援や地域活性化に取り組む商工会の運営支援を行うとともに、商工会や関係機関と連携し、経営指導体制の充実による経営者の育成や起業支援に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 商工会及び奈良県よろず支援拠点と連携を図り、経営者の育成や起業支援のためのセミナー開催を広報などにて周知しました。このセミナーに町内在住の起業希望者3名のかたが参加されました。 【事業費（決算額：R05）】 ・商工会補助金事業：2,000千円	B	【課題】 本町の商工業発展のため、事業所を経営または起業するかを対象としたセミナーなどを引き続き周知していく必要があります。 【今後の取組方針】 商工会及び奈良県よろず支援拠点と連携を図り、経営者の育成や起業支援のためのセミナー開催を広報などにて周知します。
取組② 中小企業者のための融資制度のあっせん 【取組の概要（背景・目的等）】 中小企業者が資金融資を受けられ、経営の安定化につなげられるよう、融資認定や関係機関の融資制度の活用情報の提供に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 中小企業者のための融資制度のあっせんについては、セーフティネット制度（町内の事業所で売り上げが前年度と比較して下がっていれば、銀行などから融資を受けることができる）を活用し、提出された書類を審査し、10の事業所認定を行い銀行などの関係機関に紹介しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 本町における資金繰りが難航している中小企業者のため、メリットのある融資制度などを引き続き周知していく必要があります。 【今後の取組方針】 セーフティネット制度及び導入促進基本計画における企業認定制度を広報やHPなどで推進するとともに、同制度を商工会において周知してもらうことで中小企業の活性化を支援します。
取組③ 事業者と関係機関との連携機会の創出 【取組の概要（背景・目的等）】 経営の革新に取り組む事業者と関係機関との連携支援をはじめ、様々な課題を抱える町内事業者に対する支援体制の構築・拡充に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 先端設備を導入し労働生産性の向上を目指す町内事業者に対し、先端設備等導入計画に基づく申請をした場合の減税制度を、商工会を通じ会員に発信してもらいました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 県の事業にその他の中小企業をサポートするメニューがないかを模索する必要があります。 【今後の取組方針】 県と連携を図り、本町の中小企業の実情を知ってもらうとともに、そこで知りえた情報を広報やHPへ掲載するなどして、事業の周知活動を行います。また、町内の商工業の活性化に向け、中小企業やその中心となる商工会に対し、今後もサポートをしていく必要があると考えます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-2 商工業	担当課
	② 地域に根付いた魅力ある地域商業の活性化	まちづくり推進課
施策の展開方向	●地域農産物の町内消費促進を支援するため、商業施設や地域イベントでの販売など、場と機会の確保に努めます。 ●町内外に上牧町の魅力をPRすべく、地域資源を活用した新たな特産品の開発を進めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
新たな地域特産物（累計）【品目】	○	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0				2
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	地域資源を活用した商品開発と販路確保支援		総合戦略 基本目標.4
【取組の概要（背景・目的等）】 町内外に上牧町の魅力をPRすべく、地域資源を活用した新たな特産品の開発を進めるとともに、地域農産物の町内消費促進を支援するため、商業施設や地域イベントでの販売など、場と機会の確保に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえるよう、上牧ふれあい朝市会に対しペガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動など、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげました。 新たな地域特産品開発に関し、地元農業者、事業者及び商工会と協議を重ねましたが、開発には至りませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえるよう、地元農業者、事業者及び商工会と連携し事業を推進していく必要があります。 【今後の取組方針】 引き続き上牧ふれあい朝市会に対し、ペガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動など、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげます。 また、地元農業者、事業者及び商工会と協議を重ね、黒力レーに次ぐ第2、第3の新たな地域特産品を開発または開発支援をしていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-3 労働環境	担当課
	① 安心して共働きできる環境の整備	こども未来課
施策の展開方向	●夫婦がともに助け合い、互いの能力や個性を認め合うことで仕事・生活・その他あらゆる分野でいきいきと活動できる社会を目指し、子育て支援の充実を図り、共働き世帯に対する良好なワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
子育て支援セミナー参加延べ人数（年間）【人】	○	- 対前年増減→	- ±0	18 +18	18 ±0				40
病児・病後児保育施設登録者数【人】	○	77 対前年増減→	84 +7	93 +9	112 +19				120
乳幼児教室開催数（年間）【回】	○	36 対前年増減→	36 ±0	36 ±0	36 ±0				36

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 子育てと就労の両立支援 【取組の概要（背景・目的等）】 安心して共働きできる環境の整備を目的に、子育てと就労の両立支援として、病児・病後児保育と放課後児童健全育成事業を実施しています。 【実施内容・成果（R05）】 「ぞうさんのおうち」と「いちごルーム」、令和5年度より新たに「ぼっぼ」と合計3カ所で実施しました。「いちごルーム」の案内チラシやポスターを作成し、保育所・学童保育所などに掲示し周知を図りました。 また、年度ごとの更新が不要となり、利便性の改善につながりました。社会的ニーズの拡大により、近隣で新たな病児保育施設と契約したため利用者の選択肢が広がりました。 放課後児童健全育成事業として、就労形態の多様化に伴う保育需要に対応するため、町内の学童保育所において保護者が共働きの家庭などにより放課後や夏休みなどの長期休業日に家庭で保育が受けられない児童を対象として、適切な遊びや生活の場を提供しました。 また、令和5年度夏休みより、学童保育開始時間を従来の8時から7時30分とし開設時間の延長を実施して子育て支援の充実を図りました。 【事業費（決算額：R05）】 ・病児・病後児保育事業：1,806千円 ・学童保育運営事業：29,045千円	A	【今後の取組方針】 登録者数においては認知度が少しずつ向上しつつあります。地域の特性上などの理由で登録者数は伸び悩んでいますが、共働き世帯の増加などにより利用ニーズは増加すると予想されるため引き続き登録人数を増やし、仕事と子育ての両立の手助けができるよう周知します。 上牧第三小学校学童保育所においては教育委員会部局の協力を得て学校の特別教室の一部を利用し、利用定員を増やして受け入れをしている状況です。 今後も受け入れについては柔軟に検討し、仕事と子育ての両立を支援します。
取組② 子育て支援の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 子育て中の保護者と子どもを対象とした子育てを応援するため、子育て支援セミナーを行いました。 【実施内容・成果（R05）】 感覚運動遊びを通して体幹やバランス遊びを行いながら、親子でふれあい遊びを実施し、からだの土台づくりを図りました。ペガサスフェスタにおいて先着親子10組を対象に開催しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 子育て中の保護者の子育てを応援するために、子育て支援セミナーを今後も開催していきます。健康や育児などに親子で楽しめる内容を検討し、親子で充実した時間を過ごせるようなセミナーを開催します。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組③	特色ある乳幼児教室の開催		総合戦略	基本目標.1
【取組の概要（背景・目的等）】 英語知育教育や和太鼓指導などの、第1保育所ならではの特色ある乳幼児教室を開催します。 【実施内容・成果（R05）】 第1保育所において、3歳から5歳児を対象とした英語知育教育を実施しました。3歳、4歳児は隔月、5歳児は毎月1回外国人講師を招き、英語の歌を歌ったりダンスを踊ったりすることにより、英語を身近に感じながらリズム感を養うことができました。 また、5歳児を対象とした和太鼓指導では、昨今の入所児童数増加に対応するため、寄附金を活用して和太鼓を追加購入しました。 令和5年度は生活発表会やペガサスフェスタにおいて、人前で練習の成果を披露することができました。ペガサスフェスタではペガサスホールという大きな会場でたくさんの人の前で披露し、緊張しながらも頑張る姿を見ることができました。 【事業費（決算額：R05）】 ・町立第1保育所事業（和太鼓指導・英会話教育・和太鼓購入）：1,215千円		A	【今後の取組方針】 英語知育教育、和太鼓指導のほか、園庭での菜園活動やミュージックケアなどを実施していますが、子どもたちの感想や意見などに耳を傾け、よりよい事業となるよう更に充実を図ります。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-3 労働環境	担当課
	② ハローワークや町内事業者等と連携した就職支援	企画財政課
施策の展開方向	●ハローワークと連携し、町民の様々なライフスタイルに対応できる就職情報を発信するとともに、出産後に再就職を希望する女性等を対象にした就職準備セミナーの開催や町内事業者とのマッチングを支援するなど、上牧町で暮らし働く環境の提供に努めます。 ●県と連携して移住支援金事業を実施し、県内企業などの人材不足の解消と県内への移住・定住促進を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
就職支援セミナー等への参加者数（年間）【人】	○	15 対前年増減→	8 -7	2 -6	8 +6				30
マッチングイベント等参加事業者数（年間）【事業者】	○	1 対前年増減→	- -1	1 +1	- -1				3
移住支援金申請件数（年間）【件】	○	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	- -1				1

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組①	就職情報発信 / 就職準備セミナーの開催		総合戦略	基本目標.4
【取組の概要（背景・目的等）】 ハローワークと連携し、町民の様々なライフスタイルに対応できる就職情報を発信していくほか、出産後に再就職を希望する女性などを対象にした就職準備セミナーの開催を行います。 【実施内容・成果（R05）】 ハローワーク大和高田と財務省奈良財務事務所と共同で、育児期間中であかつ求職中の人を対象に、「仕事と育児の両立支援セミナー（旧名：マザーズセミナー）」を開催し、8名（前年比+6名）の参加がありました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 セミナーの参加者を集めるのが年々難しくなっているため、より多くのかたに参加してもらえるように魅力あるセミナーを開催していく必要があると考えます。 【今後の取組方針】 引き続き、ハローワークと連携を図りながら事業を進めていきます。	
取組②	町内事業者とのマッチング支援		総合戦略	基本目標.4
【取組の概要（背景・目的等）】 ハローワークと連携し、町内事業者とのマッチング支援を行います。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は、仕事と育児の両立支援セミナー内で金融教育に関する内容を行ったため実施しませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		C	【課題】 事業を行うにあたって、ニーズが把握できていない状況のため、ニーズの調査をする必要があります。 【今後の取組方針】 ハローワークと連携を図りながら、取組の方向性についての検討を進めていきます。	
取組③	移住支援金事業		総合戦略	基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 奈良県と連携し、県内企業などの人材不足の解消と町内への移住・定住を促進させるため、東京圏から移住し、県内での就業や起業をしようとするかたに対し支援金を給付しています。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は周知活動として、広報5月号への掲載などを行いましたが、申請はありませんでした。 また、本補助金制度の拡充を目的として、子育て加算（18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合、18歳未満の世帯員1人につき100万円の加算）を行うための要綱改正を行いました（令和6年4月1日施行）。 【事業費（決算額：R05）】 ・東京圏からの県内就労促進移住支援金事業：0円（予算：1,000千円）		B	【課題】 申請件数が少ない状況にあるため、周知方法についての検討などが必要と考えます。 【今後の取組方針】 引き続き、奈良県と連携し事業を進めていきます。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-3 労働環境	担当課
	③ 子育てママの社会復帰・キャリアアップの推進	企画財政課
施策の展開方向	●テレワークを活用し、子育てしながら柔軟に働くことができる環境を確保するとともに、子育て期間中の女性の社会復帰やキャリアアップに向けてプランクの解消やスキルの習得につなげます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）【人】	○	26 対前年増減→	45 +19.0	46 +1.0	53 +7.0				50
子育てママ就業支援施設稼働率（年間）【%】	○	53.9 対前年増減→	83.6 +29.7	78.9 -4.7	80.0 +1.1				70.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 子育てママ就業支援事業の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 子育てをしながら柔軟に働くことができる環境を確保することが求められています。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度においても、「上牧町子育てママ就業支援事業」として、育児の都合に合わせた柔軟な働き方を実現できるようにするため、ラスパ西大和1F（上牧町ささゆりルーム）において、託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペース（事業拠点）を設置し、民間事業者との連携により運営を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 ラスパ西大和にて、就業支援スペースを活用し民間事業者が託児を行いながらコールセンター業務などを行っていましたが、時代の流れに合わせ、業務形態を在宅へ切り替えることを進めるとのことで、令和6年3月末をもって閉店することとなり、子育てママ就業支援事業が終了となりました。 【今後の取組方針】 これまでの子育てママ就業支援事業とは、別の形で、子育てをしながら働くことができるような支援策を検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-4 魅力づくり	担当課
施策の展開方向	① 上牧町の知名度アップ ●コミュニティ組織等の協働による地域資源（片岡城跡など）を生かした名所づくりを推進します。 ●観光マップ「笹ゆり回廊から歴史・魅力を辿るまち上牧町」の充実及び関係機関発行の情報誌やホームページ等によるPRを推進します。 ●イベント等への参加により町の認知度向上を図ります。 ●自然環境・文化資源の保全や魅力の発信、新たな観光プログラムの企画・周知・運営に取り組みます。 ●町内外の人が気軽に参加できるSNSを活用した様々な企画に取り組みます。	まちづくり推進課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
観光イベントの実施・参加回数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	3 +3	4 +1	6 +2				2
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 協働による名所づくり整備の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティ組織などの協働による地域資源を生かした名所づくりを推進します。 【実施内容・成果（R05）】 ボランティア団体及び関係各課協力のもと、片岡城跡周辺の竹林や樹木の伐採を行うなどの整備を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 ボランティア団体参加型の協働による名所づくり整備の推進をする必要があります。 【今後の取組方針】 片岡城跡に限らず、町内の地域資源の協働整備について、住民に向けて広報やHPなどで協力依頼し、名所づくりを推進していきます。
取組② 案内板の設置 【取組の概要（背景・目的等）】 「笹ゆり回廊」において、案内板を設置することで安心安全なルートを確認します。 【実施内容・成果（R05）】 案内板の設置について、「笹ゆり回廊」全体における案内板設置は実施していませんが、片岡城跡周辺4箇所にて案内板を設置しました。 【事業費（決算額：R05）】 片岡城跡誘導看板等設置事業：489千円	B	【課題】 上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開する必要があります。 【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、既存の回廊のルートについて広く町内外に周知し、現地でもルートを確認できる案内板を設置します。
取組③ 観光プログラムの企画・周知・運営 【取組の概要（背景・目的等）】 自然環境・文化資源の保全や魅力の発信、新たな観光プログラムの企画・周知・運営に取り組みます。 【実施内容・成果（R05）】 観光プログラムの企画・周知・運営について、観光案内所3か所（檀原市2か所、桜井市1か所）、天理市の道の駅に本町のパンフレットを設置させてもらい周知に努めました。 また、馬見チューリップフェア、達磨会式、ウォーキングイベント、かぐや姫まつり、おもしろ歴史フェスティバル及び大立山まつりに参加しパンフレットなどを配り周知に努めました。 奈良県北西部の地域資源を活かした観光振興に資する特色ある総合的な取組を行う自治体との連携及び支援を行うことを目的とした「WEST NARA 広域観光推進協議会」に令和6年度から参加するため、会議への出席及び打合せを行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 観光プログラムの企画・周知・運営するため、関係各課と協議する必要があります。 【今後の取組方針】 イベントなどに参加し上牧町の周知活動を引き続き行っていくとともに、「WEST NARA 広域観光推進協議会」に参加し、上牧町の自然・文化などの魅力を発信していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-4 魅力づくり	担当課
施策の展開方向	① 上牧町の知名度アップ ●コミュニティ組織等の協働による地域資源（片岡城跡など）を生かした名所づくりを推進します。 ●観光マップ「笹ゆり回廊から歴史・魅力を辿るまち上牧町」の充実及び関係機関発行の情報誌やホームページ等によるPRを推進します。 ●イベント等への参加により町の認知度向上を図ります。 ●自然環境・文化資源の保全や魅力の発信、新たな観光プログラムの企画・周知・運営に取り組みます。 ●町内外の人が気軽に参加できるSNSを活用した様々な企画に取り組みます。	企画財政課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
SNSの延べフォロワー数【人】	○	2,500 対前年増減→	4,271 +1,771	5,345 +1,074	5,864 +519				5,500
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	○	50.6 対前年増減→	38.2 -12.4	40.4 +2.2	33.3 -7.1				60.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 上牧町くらし方魅力発信		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、移住定住を目的としたプロモーション活動を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会で運営する北葛城ホームページにおいて、タウンプロモーションとして「上牧暮らし」と題し、子育て・教育、住環境、医療、独自の取組の4つの分野に分けて町のくらしの様子や魅力を発信しました。 あわせて、上牧町への関心を高めるきっかけとなるよう町のイベント情報を随時掲載しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・すむ・奈良・ほっかつ！事業：250千円	B	【課題】 大阪近郊のベッドタウンとなる自治体との比較の中で、十分な知名度があるとは言えないことから、引き続きタウンプロモーションを進めていく必要があると考えます。 【今後の取組方針】 今後も引き続き「すむ・奈良・ほっかつ！事業」におけるタウンプロモーションを推進していきます。
取組② SNSを活用した情報発信と企画の実施		総合戦略 基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 SNSを通して上牧町への関心を高める企画などの情報を発信することで、町の認知度向上及び魅力発信につなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 町制施行50周年記念事業の一環として制作された町PRキャラクターがイベント等へ参加する機会が増え、SNSでの情報発信を推進することができました。 また、コミュニケーションアプリ「LINE」で使用するのことができる「スタンプ」を制作したほか、上牧町ホームページ内に「ゆりはちゃんの活動日記」というコーナーを開設し、ゆりはちゃんが出席したイベントなどの写真・文章を掲載しました。 その他、他市町村のSNSに掲載いただく機会もあり、県内外問わず多くのかたに上牧町を知ってもらうよいきっかけとなりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・PRキャラクター活用推進事業：1,378千円	A	【今後の取組方針】 今後も、秘書人事課と連携しながら、町PRキャラクターを活用したSNSでの情報発信を進め、町や町PRキャラクターの認知度向上に努めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組③ イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施			総合戦略	基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R05）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月22日から4月10日まで夜桜のライトアップを実施し、3月30日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは事業の深化・高度化を図ることを目的に上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。 さらに、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」における新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」を実施しました。本プロジェクトの取組として「ほっかつ御墳印帖マップ」を作製したほか、スタートアップイベントとして、河合町総合福祉会館で「北葛城古墳フェスタ」を実施し、奈良県内外から100名を超えるかたに参加いただきました。 令和5年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印592枚、御墳印帖を64冊売り上げました。 令和4年度に引き続き、「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの活用」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を「知ってもらえる・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R05）】 ・ペガサスフェスタ開催事業：4,708千円 ・片岡城復刻AR事業：94千円 ・ライトアップ事業：1,394千円 ・PRキャラクター活用推進事業：1,378千円		A	【今後の取組方針】 今後も引き続き「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の取組を推進していきます。 また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

地域活性

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	4-4 魅力づくり	担当課
	② 地域資源をつないだネットワークの形成	まちづくり推進課
施策の展開方向	●大学・NPO と連携する機会を増やすなど、新たな地域資源を創出することで、魅力の向上につなげます。 ●かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	○	47.0 対前年増減→	89.0 +42.0	89.0 ±0	89.0 ±0				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	関係機関との連携機会の創出	総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 大学・NPOと連携し、新たな地域資源を創出することで、魅力の向上につなげます。 【実施内容・成果（R05）】 上牧町、王寺町、広陵町、河合町を巡りながら「馬見丘陵公園」を目指す、一括した散策ルートを王寺町、広陵町、河合町、中和公園事務所と連携し、奈良県ウォーキング協会との共催で、王寺町から上牧町を経て馬見丘陵公園を目指すウォーキングイベントを8月5日に開催しました。 桜の開花時期に合わせ、3月30日にさくら祭りを開催しました。さくら祭りは事業の深化・高度化を図ることを目的に上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 引き続きウォーキングイベントを実施していくとともに、大学・NPOとの連携を図り、専門的分野の方々と意見交換などを行い、現有する地域資源の見せ方や新たな地域資源の発掘方法を検討し事業を推進していきます。 商工会と連携し、桜の開花時期に合わせ、さくら祭り実行委員会主催のさくら祭りを開催します。
取組②	かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業	総合戦略	基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。 【実施内容・成果（R05）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせライトアップを行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・芝桜植栽維持管理事業：999千円		B	【課題】 上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開する必要があります。 【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、既存の回廊のルートについて広く町内外に周知し、現地でもルートを確認できる案内板を設置します。